



「抱負（ほうふ）」 (二学期終業式の話より)

抱負



「一年の計は元旦にあり」。2022年は自分にとってどうでしたか。一年が終わり、新しい年が始まる今、しっかり振り返ってみてください。そして、次の新しい年、自分はどう過ごすのか、何を目標にするのかを考えてください。

「抱負（ほうふ）」という言葉を知ったことはありますか。普段はあまり使わない言葉ですが、どんな意味があるのでしょうか。国語辞典で調べると、「心の中にもっている計画・決意」と書いてありました。

「夢は語れば叶う」という話を聞いたことがあります。ただ思っているだけで



はだめで、何かに書いたり、人に話したりすると、頑張りきっかけになるし、夢がかなうよ、という意見です。以前は私もそう思っていたんですが、実はちがうということが、ある科学雑誌に書いてありました。
こんな実験をしたそうです。ある作業をするのに、自分の頑張りようと思っていることを口に出して人前で発表した人のグループと、口には出さずに、自分の中で「頑張りぞ!」と思っていた人のグループ、それぞれが一定時間の中で作業をしました。結果は、口に出さずに心の中で思っただけのグループの成績が断然高かったそうです。



自分の目指すものを言葉にして人に伝えると、周りの期待に応えようと、返ってストレスを感じる場合もあるみたいで、効果はうすれるようです。逆に自分の心の中で思うことによって、本当の力が発揮されるそうです。**もちろん、心の中でしっかりと目標と計画を立てることが必要です。**目指すものがはっきりとあって、初めて夢は実現します。

つまり「夢は語ればかなう」ではなく、「夢はしっかり思えばかなう」ということ。
新しい年を迎えるこの時期に、自分にとっての次の一年の「抱負」を、そして将来の夢を、心の中で確かめてみてください。

持久走大会

11月11日（金）より始まった「さわやかかけ足」。筋力・持久力を高めることや、何事にも根気強く取り組む力をつけることを目的として、業前と業間休みの時間を使って実施しました。最初は5分間から始めて、最終的には7分間の時間、自分のペースで走りきるようにしました。みんな自分のペースを確認しながら、少しでも進歩しようとする姿勢がうかがえました。



12月1日（木）には、その集大成として、持久走大会を開催しました。この日、気温はぐっと下がり、冬らしい天候となりましたが、持久走大会としてはぴったりの環境であったと思います。

校区通学路に設定したコースを、1～2年生は2km、3～4年生2.5km、5～6年生は3.5km走りましたが、みんな最後まであきらめず、自分の限界に挑戦している姿と表情は、本当に素敵でした。これだけ頑張れることを自信として、他のいろいろなことにも挑戦し、最後まであきらめず続けていってください。

コースの途中や学校のゴール付近では、とても寒い中にもかかわらず、多くの保護者や地域の方に応援していただきました。ありがとうございました。



三つ星フェスティバル



11月22日（火）に本校体育館で学習発表会「三つ星フェスティバル」を開催しました。コロナ対策として3分割した上で、保護者の方にも、学年ごとに入れ替わっていただきながら実施しました。ご協力ありがとうございました。

多くの方に参観いただくことで、子どもたちのやる気と緊張感も増していたように感じました。

本番までに何度も練習やリハーサルを重ねてきた成果が十分に発揮できた発表会であったと思います。終わった後のみんなの満足感のある表情が印象的でした。

また、下校時の「引き渡し訓練」は、多数の保護者の方に参加していただき、実施することができました。ありがとうございました。